

第 23 回 固体飛跡検出器研究会 プログラム

日時 2008 年 3 月 24 日・25 日

場所 早稲田大学・大久保キャンパス 55 号館 S 棟 2 階第三会議室

3 月 24 日 (月)

11:00 – 11:05 開会挨拶 小平聡 (早稲田大学: 世話人)

【招待講演】 11:05 – 11:45 (座長: 安田仲宏)

- (1) 『Spectrometry of linear energy transfer and its use in radiotherapy and radiation protection in high-energy particle fields』

Iva Jadrnickova

(Nuclear Physics Institute, Academy of Sciences, Prague, Czech Republic)

【昼休み】 11:45 – 13:00

【セッション 1 線量計測】 13:00 – 14:40 (座長: 小倉紘一)

- (2) 『CR-39 プラスチック中の二次荷電粒子 LET 分布測定による速中性子線量計測』
俵裕子 (高エネルギー加速器研究機構)
- (3) 『TD-1 プラスチックを用いた LET 分布測定法の再検討』
北城圭一 (株式会社エイ・イー・エス)
- (4) 『国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」への搭載に向けた PADLES の開発』
熊谷秀則 (株式会社エイ・イー・エス)
- (5) 『受動積算型線量計 PADLES による低地球軌道での宇宙放射線計測』
永松愛子 (宇宙航空研究開発機構)
- (6) 『国際宇宙ステーションでの線量の空間分布測定』
立山涼子 (東邦大学)

【休憩】 14:40 – 15:00

【セッション 2 重イオン損傷】 15:00 – 16:20 (座長: 藤井正美)

- (7) 『PADC 中重イオントラック構造解析』
森豊 (神戸大学)
- (8) 『PC 及び PADC 中における光化学過程について』
坂本淳志 (神戸大学)
- (9) 『PADC に吸蔵された CO₂ の拡散挙動』
近田啓 (神戸大学)
- (10) 『PADC 中の潜在飛跡について』
山内知也 (神戸大学)

【セッション3 原子核乳剤・応用】 16:20 – 17:00 (座長: 鶴田隆雄)

- (11) 『潜像核線密度による粒子線のエネルギー損失評価』
久保田寛隆 (名古屋大学)
- (12) 『原子核乾板全自動解析システムの開発とその応用』
森島邦博 (名古屋大学)

【懇親会@55号館S棟9階E系サロン】 17:10 –

3月25日(火)

【セッション4 断面積】 10:00 – 11:00 (座長: 中村正吾)

- (13) 『エマルジョンによる核反応断面積の測定』
歳藤利行 (高エネルギー加速器研究機構)
- (14) 『CR-39 を用いた宇宙線中の原子核成分と水素との核変換断面積測定』
太田周也 (早稲田大学)

【セッション5 新しい手法・材料・応用 I】 11:00 – 11:40 (座長: 山内知也)

- (15) 『フィッシュトラック法によるウラン含有粒子の濃縮度別検出法 (2)』
李致圭 (日本原子力研究開発機構)
- (16) 『固体飛跡検出器を使った教育実験』
中西良樹 (近畿大学)

【昼休み】 11:40 – 13:00

【セッション6 新しい手法・材料・応用 II】 13:00 – 15:00 (座長: 俵裕子)

- (17) 『宇宙線超重核観測のための検出電荷閾値可変型 CR-39-DAP 検出器の開発』
小平聡 (早稲田大学)
- (18) 『宇宙線超重核観測に向けた BP-1 固体飛跡検出器の開発』
亀井拓也 (横浜国立大学)
- (19) 『ガラス飛跡検出器 BP-1 のエッチング条件の最適化と化学構造』
田川智博 (横浜国立大学)
- (20) 『BP-1 ガラスを利用したコリメータの製作と X 線 CCD への応用』
平賀純子 (理化学研究所)
- (21) 『蛍光飛跡検出法のための顕微鏡開発』
安田仲宏 (放射線医学総合研究所)